

# 校長室だより

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/maruyamadai/>

## 「リスタート」

校長 藤 至光

すでにご承知の通り、5月25日に国の緊急事態宣言が解除されたことから、感染拡大防止への対策を十分にとった上で、6月1日（月）から学校を再開することになりました。

4月8日の休業延長から数えて、皆さんには55日ぶりに登校してもらうこととなります。その間、課題の提出等で登校してもらったり、学校からの連絡電話に対応してもらったり、教育相談、学習相談で登校してもらった日もありました。皆さんの健康状態の確認や学習状況の確認をさせてもらいながら、この再開の日を待っていたところです。

今はとにかく、生徒の皆さんやご家族の方とともに本校の教職員が日々の健康観察を確実にし、感染防止対策を徹底しながら、共に学校生活を送り、少しずつ通常の教育活動を進めることができるようにしていきたいと考えているところです。また、心境としては、4月6日の入学式、4月7日の始業式の前と同じように、期待と緊張が入り混じった状況です。

期待していることは、統合した新しい丸山台中学校がどのようによりよく変容していくのかという点です。2つの学校が一つになったわけですから、それぞれの良いところをブレンド出来たらどうなるかなと、想像しただけでワクワクしませんか？そして、そのために皆さんが様々な活動を通じてチームワークよく、持っている力を発揮しながら、どんなことにチャレンジをしてくれるのかなということを楽しんでいます。

緊張していることは、まずは感染防止対策を徹底して、皆さんの健康を確保できるように教育活動を進めていかなければならない責任から。もう一つは、改めて学校が再開するという点で、同じ学期に2度目の始業式を行うような状況なので、慣れていない新米校長の緊張感からくるものです。明日、ちびまる子ちゃんが終わって、サザエさんが終わるころには、さらに緊張感が高まっているかもしれません。

もしかしたら、私と同じように緊張感が増している人がいたり、待ち遠しさで期待が膨らんでいる人がいたり、それ以外にも様々な感情をもった人がいるのではないかと思います。そもそも新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止による臨時休校は3月3日から始まっていて、ここまでおよそ3か月間学校生活がなかったわけですから気持ちは複雑ですよ。

そのように考えると、学校が再開するとはいえ、皆さんの「気持ちと身体」が元の学校生活に戻るためにはある程度の時間が必要ですね。そして、その時間にもきっと個人差があるはずです。リスタートに向け、慌てず、焦らず、「気持ちと身体」を整えていきましょう。「しんどいな」と感じたら、抱え込まずにその気持ちを先生や保護者の方に伝えてください。

6月は、睡眠、栄養をしっかりとって免疫力を低下させないようにするとともに、「気持ちと身体を整える」そのような1か月と考えて生活してくれると嬉しいです。